

エナジーダウジング

未知なるヒーリング
テクニックを獲得する

まえがき ダウジングは、人生を変える

私がこの10年、海外に出向き、積極的に会ってきたのは、プロダウザーと呼ばれる人たちでした。

ダウザーとは、文字通りダウジングの技術を持つ人のことですが、「そもそもダウジングって何？」という方はもちろん、多少でも経験がある方であっても、実際にプロのダウザーを知っているというケースは、あまりないはずです。

ところが、イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ドイツ、エジプト、フランス、ベルギー、インドなど、じつにさまざまな国にダウザーがいて、長く受け継がれてきた技術を操っているのです。

さて、ダウジングのくわしいことは、本書でこれから理解していくとして、そのプロフェッショナルであるダウザーとは、いったいどんな人を想像するでしょうか？

SF映画に出てくるような超能力者、あるいはちょっとあやしい占い師でしょうか？

じつは私も最初の頃は、奇跡を起こす不思議な人や魔法使いとも会えるのではないかと楽しみにしていたものです。

ところが実際は、そのような人など一人もいませんでした。彼らは、神秘的な話などめったにせず、とても常識的で論理的な語り口の人ばかりでした。

何より、プロダウザーたちはそのテクニックで探しものを見つけたり、エネルギーワークをしたりするだけでなく、ダウジングで自分自身の人生をも選択し、導いていたのです。イギリス・スコットランドのグラスゴーで、ダウジングをする画家に会ったことがあります。一日かけて彼に街案内をしてもらいながら、道中、その劇的な半生を聞いたところ、彼は生活費にすら苦勞する売れない画家でしたが、住んでいた場所が自分に望ましくないと直感し、地図を広げて住むべき場所をダウジングで調べたそうです。その結果、グラスゴーが適切だとわかり、実際に引っ越してきたのでした。そして、引っ越したその年に美術展で入賞し、多くの仕事を得ることになります。

もちろん、彼以外にも、ダウジングで結婚相手を見つけたり、事業を成功させたり、難病を治して自分の望む生活を始めたりと、人生を大きく変えていった人は無数にいます。

かくいう私自身も、35歳のある日、ペンデュラムを手にしたときから、人生が動き始め

ました。

当時、工業機械メーカーで営業職をしていましたが、整体に興味を持ち、施術にダウジングを取り入れようと、海外から文献を取り寄せ、夢中でその技術を習得していきましました。やがて自分自身の人生をダウジングした末、「会社を辞めて、これを仕事にする」と妻に打ち明けたわけですが、そのとき妻のなんともいえない不思議そうな顔はよく覚えています。なにしろ当時は、マイホームのローンを背負い、3人の子どもたちが進学を控えていた、人生でいちばんお金が必要なときでした。ゆらゆら揺れるペンデュラムに家族の行く末を託すなど、妻には考えられなかったでしょう。

けれど、私には迷いなどありませんでした。「潜在意識は、すでに答えを知っている」と直感できたからです。そして、それを引き出してくれる有効なテクニックが、ダウジングだということも。

イギリスの有名なプロダウザーに、グラム・ガードナーがいます。彼は、英国ダウジング協会の会長を勤め、西洋の伝統的エネルギー技法、カバラ、各種のシャーマニズムにも深く精通するスペシャリストです。ガードナーは、自身のワークショップの冒頭で、

「ダウジングは、確実に人生を変えます。私がそうであったように」

エナジーダウジング

Point!

ダウジングは、

シンプルなテクニックです。

疑いを捨て、ペンデュラムを信頼すれば、

誰でもこのシステムに

アクセスできます！

五円玉と紐を
用意しておきましょう。



と、口癖のように言っています。このテクニックは、人のあるべき道へと導いてくれるものだと、彼は確信しているのです。

さて、本書は、ダウジングの入門書ではありませんが、単に探しものを見つける方法を解説しているだけではありません。

ダウジングを通して、私たち誰もが生まれながらに持っている能力＝叡智の宝庫である潜在意識へのアクセスを、安定して行えるよう導きます。さらに本書の後半では、幾何学形状を活用したエナジーダウジングを通して、自然界最高の調和をもたらすエネルギーを扱えるよう、ていねいに解説していきます。

このテクニックは、羅針盤のようにあなたを導くだけでなく、より良い人生を創造していくための、新たな原動力となってくれることでしょう。

JSD日本ダウジング協会 加藤 展生



目次

まえがき

ダウジングは、人生を変える 5

第1章

未知なるエネルギーの探求 17

- エネルギーとは何か? 18
- 量子レベルでエネルギーを考えると..... 19
- 聖地のエネルギーとは何か? 23
- 水は情報を記憶し、水脈がエネルギーを運ぶ 25
- 「気」も、ひとつのエネルギー 26
- 一定の幾何学形状は、エネルギーを作り出す 28
- サトルエネルギーを測定する技術の確立 31
- 謎のエネルギー、ネガティブグリーンの発見 34

第2章

ダウジングで何ができるのか 47

- 究極の調和エネルギー、BG3の発見 38
- 調和のエネルギーを活用するテクニック 44
- ダウジングの起源 48
- スーザン・コリンズ ダウジングとの出会い 51
- ダウジング発展の推移①メンタルダウジング 54
- ダウジング発展の推移②ラディエスセシア／ラディオニクス 56
- ダウジング発展の推移③ダウジングヒーリング 58
- 欧米では「ダウジング」とは呼んでいない? 60
- 誰でもダウジングのシステムにアクセスできる 61

第3章

YES／NOクエスチョン 63

- はじめてのダウジング 64
- ダウジングプロトコル（質問手順） 72



第4章

チューニングがうまくいかなかったら	73
ダウジングの正しさとは何か?	74
ペンデュラムは、手で動かしている?	76
ペンデュラムの素材は、何がふさわしいのか?	79
あなたのペンデュラムを選ぶ方法	80

チャートダウジング 83

ダウジングチャートを使うメリット	84
はじめてのチャートダウジング	86
YES／NOチャート	90
コンディションチャート	91
パーセンテージチャート	92
チャクラチャート	93
デイメンションチャート	94
レイチャート	95
チャートを活用した水脈調査の実例	96

第5章

マップダウジング	98
イデオット——非合理的なダウジング結果が出たとき	100

エナジーペンデュラム 105

エナジーペンデュラムは、何がちがうのか?	106
カルナックペンデュラム	110
イシスペンデュラム	112
オシリスペンデュラム	114
ノバペンデュラム	116
マーメットペンデュラム	118
イソリスペンデュラム	120
アルティメットラディエスセシアヒーラー	122
アトランティスペンデュラム	123
ラディオニックペンデュラム	124
B G 3ー16ペンデュラム	126
IKユニバーサルペンデュラム	128



第6章

ダウジングヒーリング …… 143

ジェド・ワジコンビネーションペンデュラム ……	130
フィクショナルコーンペンデュラム ……	132
ヴァーティカル&ホリズントールペンデュラム ……	134
ニュートラルペンデュラム ……	136
ラージエドペンデュラム ……	137
MTペンデュラム ……	138
ベリタスペンデュラム ……	139
イシスペンデュラムの活用例 ……	140
エネルギーの受信器から、発信器へ ……	144
ヒーリングワークの準備プロセス ……	145
チャクラヒーリングの実践 ……	150
ペンデュラムが逆回転を始めた場合は？ ……	156
遠隔ダウジングヒーリング ……	158
チャンバー(室)を用いた遠隔ヒーリング ……	162

第7章

Lロッドダウジング …… 171

ネガティブグリーンのヒーリング ……	166
ダウジングロッドが、人類を救ってきた？ ……	172
Lロッドの種類と構造 ……	173
まずはロッドを握ってみましょう ……	174
Lロッドのサイズと感度 ……	182
Lロッドを構えて山歩き ……	183

第8章

エナジーデバイス …… 185

ワンド(杖) ……	186
アトランテイスクロス ……	188
アトランテイスリング／ペンダント ……	190
キャメロン・オーラメーター ……	192
スーザン・コリンズボバー ……	194



あとがき

ボビスバイオミター（ボビススケール）	……	195
バイオシグニチャーペンダント／ネックレス	……	196
ホームエナジーバランスINGKキューブ	……	198
B G エナジークリアリングトレイ	……	199

自然界の叡智とつながるときに	……	202
----------------	----	-----

ダウジング用語集	……	206
----------	----	-----

第1章

未知なるエネルギーの探求



エネルギーとは何か？

ダウジングを始める前に、ちょっと遠回りに思うかもしれませんが、まず「エネルギーとは何か」を考えていきたいと思えます。なぜかという、ダウジングとは、このエネルギーなるものを探知し、バランスをもたらすための技術だからです。

そもそも、エネルギーといえば、多くの人は発電所で作られる電気エネルギーや、物理の授業で習った運動エネルギーを思い浮かべるはずですが。

もちろん、エネルギーとは電気や物体の力だけではありません。太陽の光もエネルギーですし、植物は光合成によって太陽エネルギーを化学エネルギーに変換しています。食べ物のカロリー表示もエネルギーのことです。日常会話では、元気な人のことを「あの人はエネルギーがある」などと表現することもありますし、エナジードリンクと呼ばれる飲料も出てきています。（ちなみに「エネルギー」はドイツ語読みで、「エナジー」は英語読み）。形も色もなく、眼にも見えない「エネルギー」とは、とらえがたい漠然としたものであるのは確かですが、「何らか私たちに影響を与えるもの」と定義することができます。

けれど、その形も色もない、眼に見えないエネルギーを探知し、自在に扱うことができます。そのテクニクを本書で解説していくわけですが、その前にもう少し、このエネルギーなるものを探っていきましょう。

量子レベルでエネルギーを考えると・・・

エネルギーとは何かを理解していく上で、避けて通れないのが、原子レベルのミクロの視点です。

アルバート・アインシュタインの有名な公式 $E = mc^2$ （Eはエネルギー、mは質量、cは光速）が示すように、物質とエネルギーはイコールで結ばれた同じものです。

原子力発電や原子爆弾で使われる原子力とは、核分裂によって原子の中のエネルギーを解放する作用であり、つまり、私たちの身体をはじめ、すべての物質を構成する原子のひとつひとつには、膨大なエネルギーが内包されているということです。物質とは、エネルギーの一形態であり、私たち人間も、植物も、木も、石も水も、あらゆる物質は、エネ

エナジーダウジング

Point!



すべての物質は（もちろん、あなたも！）

異なる周波数で振動するエネルギーから

できています。

ギーが凝縮したものであるといえます。もっとストレートに言えば、この世界に存在するものはすべて、エネルギーであるということです。

もう少し、ミクロの視点から見えていきましょう。

原子の中には原子核があります。その原子核は、陽子や中性子という粒子が集まったものであり、さらにその陽子や中性子もクォークという素粒子の組み合わせで構成されています。

ちなみに、原子ひとつの中に原子核がひとつあると理科の授業で習ったと思いますが、その両者のサイズ比は、我々の想像とはかなり異なります。仮に、原子ひとつが体育館ほどのサイズとすれば、その中にある原子核とは、その体育館に浮遊する塵ほどの超極小サイズなのです。

つまり、ただでさえ小さい原子の中にも、膨大な空間があり、そこを電子などの粒子が自由に動き回っているのです。20世紀に入って、電子を使った機器が当たり前になりましたが、こういう極小の世界の法則を利用して、我々の便利な生活が成り立っていることも、忘れないでおきたいものです。

物質の最小単位のことを素粒子といいますが、その正体は何かというと、粒であり、波

です。

つまり、振動です。1億分の1cmというミクロの世界では、すべてが振動であり、その振動こそ、エネルギーです。突き詰めれば、すべての人・生き物・物は、特定の周波数で振動し、エネルギーを発しているのです。

シューマンレゾナンス（シューマン共振）という言葉聞いたことがあるでしょうか。これは、地球の定常波（地球の大地と電離層の間の空間における共振周波数）であり、地球が常に発している7・83Hzの周波数です。シューマンレゾナンスとは、生き物を生かす理想的な周波数であり、人を癒やすヒーリングも、ある意味その究極の周波数を出そうとする取り組みといえると思います。

このように地球自体も特定の周波数を発しています。もちろん、我々人間も含め、自然界に存在するものすべては、人間が認識できるものから認識しにくいものまで、無数の周波数（エネルギー）を発しています。しかも、ただ発しているだけでなく、さまざまなものと共振共鳴を起こしています。無数の周波数（エネルギー）が、まるでギターの弦から美しい音が奏でられるように、互いに調和し合って、この自然界が成り立っているのです。